

**特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等を定める告示案に対して
提出された意見及び総務省の考え方**

No.	意見提出者	案に対する意見及びその理由	総務省の考え方	提出意見を踏 まえた案の修 正の有無									
1	電波天文周波数 委員会	<p>特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等の資料につきまして、拝読しました。</p> <p>この中で、以下の周波数帯は、電波天文業務に指定されている周波数帯に重複しています。</p> <p>該当周波数が使用可能地域に、電波天文観測を行っている施設がありますので、電波天文業務に影響がないよう、実験局の設置場所の位置が、これらの施設から1km以上となるように、ご配慮を宜しくお願い致します。</p> <p>具体的には、次の周波数帯域と地域が関係いたします。</p> <table border="1" data-bbox="546 957 1167 1193"> <thead> <tr> <th>電波天文業務周波数</th> <th>割り当て案</th> <th>使用可能地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.0~74.6MHz</td> <td>73.55~73.75MHz</td> <td>九州 総合通信局内</td> </tr> <tr> <td>73.0~74.6MHz</td> <td>73.55~73.65MHz</td> <td>東北 総合通信局内</td> </tr> </tbody> </table>	電波天文業務周波数	割り当て案	使用可能地域	73.0~74.6MHz	73.55~73.75MHz	九州 総合通信局内	73.0~74.6MHz	73.55~73.65MHz	東北 総合通信局内	<p>電波天文業務の位置づけは無線通信規則第29条において同規則第5条の周波数分配表に従うこととされています。</p> <p>73.0-74.6MHzについては、無線通信規則第5条において第2地域（南北アメリカ大陸等）のみで電波天文業務に分配されているものであり日本が含まれる第3地域（アジアオセアニア等）では固定業務及び移動業務に分配されています。</p> <p>したがって、国内の周波数割当計画においても同周波数帯は電波天文業務に分配していません。</p> <p>よって原案どおりとします。</p>	なし
電波天文業務周波数	割り当て案	使用可能地域											
73.0~74.6MHz	73.55~73.75MHz	九州 総合通信局内											
73.0~74.6MHz	73.55~73.65MHz	東北 総合通信局内											
2	個人	<p>現在、mmbi社（放送局名としては「NOTTV」）が事業撤退した後の、VHFハイバンド帯（207.5から222MHz）の跡地の空き周波数について、利用のための提案募集な</p>	<p>V-High帯域（207.5~222MHz）については、「放送を巡る諸課題に関する検討会」の下で「放送用周波数の活用方策に関する検討分科会」において「V-High帯域の活用方策に関する取りまとめ」が平成31年4月26日に公表されたことを受けて、</p>	なし									

		<p>どが、昨年頃から今年にかけて実施されました。</p> <p>2回の募集で合計16件の提案が行われ、それらについて「特定実験試験局」としての電波利用を受け付けるという方向で、総務省から提案者への連絡などもされております。特定実験試験局として、このVHFの空き周波数を使えるようにするため、告示案に周波数が追加されるように、意見提出をいたします。</p> <p>前記の通りの、207.5から222MHzの周波数の追加を希望いたします。試験局の内容によっては、下側に隣接して5MHzほど空けている、ガードバンドの一部も使用できるほうが良い点も、付け加えておきます。</p> <p>具体的には、以前のVHFアナログTVの、12ch、11ch、10chの3つに相当する、6MHzの幅で3つのチャンネル分、222から216MHz、216から210MHz、210から204MHzのように、現在の地上デジタルTV放送で使用されている、フルセグ（13セグメント）で6MHz幅の送信が、3つまで行われることを想定した、特定実験試験局用の周波数として使えるような、告示案でどうでしょうかという提案になります。</p> <p>実際の実験での利用イメージとしては、地デジ</p>	<p>特定実験試験局の周波数の公示に向けて検討を進めています。</p> <p>よって本案については原案どおりとします。</p>	
--	--	---	---	--

		<p>放送帯のUHFで、エリア放送（エリアワンセグや、エリアフルセグ）で行われているような送信を、こちらの跡地のVHFハイバンド部分でやれる状態にするような放送実験用途です。</p> <p>通信や放送やIoT向けの利用として提案された16件の中にも、実験に必要な帯域幅や送信内容が書かれておりますので、それらの提案を実験する際に、この空き周波数が使えるように、告示が行われることを希望いたします。</p>		
3	(株)フラワーコミュニティ放送内デジタルコミュニティ放送協議会	<p>八頁 161.2MHz から 161.275MHz</p> <p>九頁 341.488MHz から 341.512MHz</p> <p>八頁と九頁の間の周波数帯で、特に 207.5MHz から 222MHz において、特定実験試験局を行いたい計画があるため、20Wでの等価等方輻射電力をお認めいただきたいと思います。</p>		なし